

市内学校施設等における放射線量の測定状況について

1 測定期間

平成23年10月26日から11月25日まで

2 測定結果

(1) 6月に実施した447施設の追跡調査

6月に測定した箇所と同一の校庭等の中央及び砂場

0.19マイクロシーベルト/時間を超えるものはありませんでした。

区名	測定施設数	測定結果の範囲 (マイクロシーベルト/時間)
川崎区	81	0.04 ~ 0.14
幸区	52	0.04 ~ 0.17
中原区	76	0.04 ~ 0.19
高津区	59	0.04 ~ 0.12
宮前区	62	0.04 ~ 0.10
多摩区	67	0.03 ~ 0.12
麻生区	50	0.03 ~ 0.11
合計	447	0.03 ~ 0.19

(2) 局所的に放射線量が高い可能性のある箇所の調査

※マイクロシーベルト (μSv) は1時間あたりの数値です。いずれも、1マイクロシーベルト/時間以上が測定された箇所はありませんでした。

ア 区別の状況

区名	測定施設数	測定箇所数	0.19 μSv 以下	0.19 μSv 超 0.38 μSv 以下	0.38 μSv 超 1 μSv 未満
川崎区	82	312	77施設(307箇所)	3施設(3箇所)	2施設(2箇所)
幸区	52	201	48施設(197箇所)	3施設(3箇所)	1施設(1箇所)
中原区	76	302	73施設(299箇所)	2施設(2箇所)	1施設(1箇所)
高津区	59	234	59施設(234箇所)	—	—
宮前区	62	268	61施設(267箇所)	1施設(1箇所)	—
多摩区	69	281	67施設(279箇所)	2施設(2箇所)	—
麻生区	50	220	47施設(217箇所)	3施設(3箇所)	—
合計	450	1818	432施設(1800箇所)	14施設(14箇所)	4施設(4箇所)

《概要》

測定は予定の447施設に加え、園庭及び砂場が無い場合、6月には対象とならなかった保育園3施設を新たに測定しました。

総数450施設の計1818箇所について測定を実施

イ 0.19マイクロシーベルト/時間を超えた施設の対応

本市が定めた方法により対応した結果、いずれも0.19マイクロシーベルト/時間以下となりました。

※ 測定値の低かったものから順に記載しています。

※ カッコ内は、対応内容及び対応後の測定値を示しています。

1	0.20 μ Sv/h	川崎区 観音幼稚園	雨樋の下 (洗 浄 0.16 μ Sv/h)
2	0.20 μ Sv/h	幸 区 総合科学高校	校庭隅吹溜り (天地返し0.16 μ Sv/h)
3	0.21 μ Sv/h	中原区 下沼部小学校	雨樋の下 (除去保管0.12 μ Sv/h)
4	0.24 μ Sv/h	宮前区 子育て支援センターすがお	雑 草 地 (除去保管0.14 μ Sv/h)
5	0.24 μ Sv/h	多摩区 東菅小学校	雨樋の下 (天地返し0.16 μ Sv/h)
6	0.24 μ Sv/h	麻生区 白鳥中学校	雨樋の下 (別場所埋戻 0.13 μ Sv/h)
7	0.26 μ Sv/h	川崎区 藤崎保育園	乳児用砂場 (除去保管0.06 μ Sv/h)
8	0.26 μ Sv/h	川崎区 福音幼稚園	側 溝 (洗 浄 0.08 μ Sv/h)
9	0.26 μ Sv/h	麻生区 長沢中学校	雨 樋 (除去保管0.06 μ Sv/h)
10	0.27 μ Sv/h	中原区 東住吉小学校	雨樋の下 (除去保管0.15 μ Sv/h)
11	0.27 μ Sv/h	多摩区 生田保育園	雨樋の下 (天地返し0.08 μ Sv/h)
12	0.29 μ Sv/h	幸 区 日吉小学校	雨樋の下 (天地返し0.18 μ Sv/h)
13	0.32 μ Sv/h	幸 区 古川小学校	雨樋の下 (除去保管0.09 μ Sv/h)
14	0.38 μ Sv/h	麻生区 白鳥保育園	雨樋の下 (別場所埋戻 0.10 μ Sv/h)

↑ (0.38 μ Sv/h 以下)

↓ (0.38 μ Sv/h 超)

15	0.42 μ Sv/h	中原区 木月カリヨン幼稚園	雨樋の下 (除去保管0.12 μ Sv/h)
16	0.44 μ Sv/h	川崎区 川崎頌和幼稚園	雨樋の下 (除去保管0.14 μ Sv/h)
17	0.44 μ Sv/h	幸 区 河原町保育園	雨樋の下 (別場所保管0.12 μ Sv/h)
18	0.54 μ Sv/h	川崎区 宮前小学校	雨樋の下 (除去保管0.17 μ Sv/h)

3 今後の対応

- 除去し敷地内の安全な場所及び別の場所に保管中のものについて
順次、川崎区浮島地区の一時保管場所へ搬入し、安全に保管します。